

令和8年度 江戸川区立小岩第五中学校 人権教育年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。	運動会の取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。					合唱コンクールの取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。				互いの大切さを認めながら、次年度に向けて振り返る。	
	生徒相互の関係を把握する。		生徒相互の人間関係の変化を把握する。				生徒相互の個性を伸ばしながら、自分の大切さを認める指導					
各教科・読書科		「社会」世界の人の生活 「英語」自己紹介をしよう				「社会」身近な地域の歴史	「社会」世界の諸地域を知る	「社会」世界の諸地域を知る(アフリカ) 「外国人」	「社会」世界の諸地域を知る(南アフリカ) 「外国人」	世界の諸地域を知る	「社会」中世の日本「アイヌの人々」 「同和問題」	「家庭科」家庭や家族
	読書指導（年間を通して指導する）：人権課題についての理解を深める。											
特別の教科 道徳	礼儀	よりよい生き方を目指して かけがえのない命	夢や目標をあきらめない いじめの芽を摘む 自然愛護	家族の一員として 個性の伸長		よりよい集団の一員として 思いやりの尊さ	よりよい学校生活	生命尊重 公平・社会 感謝の心	国際理解勤労 生きること	郷土の伝統や文化を受け継ぐ よりよく生きる喜び	真理の探究 友情 生命の尊さ	日本の伝統と文化の継承 感動・畏敬の念
総合的な学習の時間							職業調べ	進路を考える	校外学習調べ	校外学習		国際理解
特別活動	入学式 前期組織作り	生徒総会： 生徒会活動の意義と参加 運動会の練習： 支援学級との交流	「全校集会」『小岩五中 SNS 利用上のルール 9か条』「インターネットによる人権侵害」			生徒会選挙 後期組織作り	文化祭				卒業式に向けて：学校の一員として卒業生を祝う。	球技大会： 支援学級との交流
その他	挨拶運動（通年）：温かい人間関係の基礎を養う。 保護者会・教育相談(面談)		「ふれあい月間」 教育相談(面談)を通して実態把握する				「ふれあい月間」 教育相談(面談)	「ふれあい月間」 教育相談(面談)を通して生徒の実態を把握する。	人権週間 教育相談(面談)		「ふれあい月間」	

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 □ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和8年度 江戸川区立小岩第五中学校 人権教育年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。	運動会の取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。					合唱コンクールの取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。					互いの大切さを認めながら次年度に向けて振り返る。
各教科・読書科	「社会」世界と比べた日本の地域的特色「災害に伴う人権問題」「家庭科」消費者の権利と8つの権利	「社会」近世の日本「同和問題」「アイヌの人々」「外国人」	「体育」人々を結び付ける文化的な動き「女性」「子供」「高齢者」「障害者」	「保健」犯罪被害の防止「犯罪被害者やその家族」						「社会」開国と近代日本の歩み「女性」「子供」成長と家族	「社会」開国と近代日本の歩み「女性」「子供」「同和問題」「外国人」	
	読書指導（年間を通して指導する）：人権課題についての理解を深める。											
特別の教科 道徳	相互理解 自立的な行動 希望と勇気をもつ	自制心をもつ 社会参画 希望と勇気	公平な社会 生命の尊さ 郷土のために	自然愛護 礼儀正しく 生活する		勤労 思いやり 友情 思いやって 行動する大切さ	個性の尊重 生命尊重	生き方の 追求・感謝	寛容の心	自然愛護 公共の福祉	国際理解	家族愛
総合的な学習の時間		福島・会津の文化・歴史	林間学校 事前学習	林間学校			職場体験に向けて	職場体験	職場体験 まとめ 校外学習に向けて	校外学習	校外学習 まとめ	進路に向けて
特別活動	入学式 前期組織作り	生徒総会： 生徒会活動の意義と参加 運動会の練習： 支援学級との交流	「全校集会」【小岩五中 SNS利用上のルールリカ案】 「インターネットによる人権侵害」			生徒会選挙 後期組織作り	文化祭				卒業式に向けて：学校の一員として 卒業生を祝う。	球技大会： 支援学級との交流
その他	挨拶運動（通年）：挨拶を通して温かい人間関係の基礎を養う。	「ふれあい月間」	教育相談（面談）を通して実態把握する				教育相談（面談）	「ふれあい月間」	教育相談（面談）を通して生徒の実態を把握する。	人権週間	「ふれあい月間」	

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 □ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和8年度 江戸川区立小岩第五中学校 人権教育年間指導計画（第3学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。	運動会の取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。				合唱コンクールの取組を通して主体的に活動し仲間と協力する。					互いの大切さを認めながら次年度に向けて振り返る。	
	生徒相互の関係を把握する。	生徒相互の人間関係の変化を把握する。		生徒相互の個性を伸ばしながら、自分の大切さを認める指導								
各教科・読書科	「社会」二度の世界大戦と日本「女性」「同和問題」「家庭科」中学生にとっての家族	「家庭科」幼児の生活と家族の関わり、男女共同参画社会基本法「女性」「子供」「高齢者」	「社会」現代の日本と世界「外国人」「北朝鮮による拉致問題」「災害に伴う人権問題」「家庭科」幼児「子供」	「社会」現代社会と私たちの生活「外国人」「インターネットによる人権侵害」「家庭科」幼児「子供」		「社会」個人の尊重と日本国憲法「人権課題全て」「体育」人々を結びつけるスポーツの文化的な働き	「社会」個人の尊重と日本国憲法「人権課題全て」「保健」性感染症の予防「HIV感染者」「英語」Malala's Voice for the Future「人種差別」	「社会」現代の民主政治と社会「犯罪被害者やその家族」		「社会」地球社会と私たち「外国人」		より良い社会を目指して
特別の教科 道徳	責任を全うする真の友情	自制する心平和と共存法や決まりの意義	生命の尊さ 地域社会の一員として	真理を求め続ける自然愛護よりよい社会の実現		勤労 思いやり 友情・信頼	公德を大切にする心 節度 思いやり 友情	望ましい人間関係 充実した 生き方	生命の尊さ 家族の愛情 伝統の継承・新しい文化の創造	よりよい社会のために 郷土の良さ	本当の友情とは 国際社会の一員 先輩への敬愛	真理の探究・創造 感動・畏敬の念
総合的な学習の時間	自己分析 自己の進路を考える		修学旅行について				伝統文化を再発見				後輩へのメッセージ	奉仕活動
特別活動	入学式 前期組織作り	生徒総会： 生徒会活動の意義と参加 運動会の練習： 支援学級との交流	「全校集会」『小岩五中 SNS 利用上のルール9か条』 「インターネットによる人権侵害」			生徒会選挙 後期組織作り	文化祭					卒業式 球技大会： 支援学級との交流
その他	挨拶運動（通年）：挨拶を通して温かい人間関係の基礎を養う。		「ふれあい月間」 教育相談（面談）	教育相談（面談）を通して実態把握する			教育相談（面談）	「ふれあい月間」	教育相談（面談）を通して生徒の実態を把握する。	人権週間 教育相談（面談）	「ふれあい月間」	

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 □ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。